

住みたい、行きたい、帰りたい、やさしい絆のまち

見附市の概要

「暮らし満足No.1のまち」を目指して



おでかけ

みつかる
見附市視察・観光ナビ
Mitsuke City Inspection & Tourism

まちづくり

見附市で「みつかる」。
持続可能なまちの姿！
みつかる 見附市視察・観光ナビ
<https://www.mitsukaru-mitsuke.jp/>



見附市の主な取り組み ①「まちと産業を元気にする」

移住・定住の促進

「豊かな住まい」
成約率 **78%**

中古住宅紹介サイト「豊かな住まい」では、市内の空き家情報を掲載。空き家の有効活用を促進し、市への定住の促進を図っています。

<https://sumai-mitsuke.com>



移住定住応援サイト「ハピネスみつけ」では、見附に移り住んできた方々のインタビューなど、移住を考えている人が知りたい住まいや仕事などの情報を発信しています。

<https://happiness-mitsuke.jp>



ウェルネスタウンみつけ

公共用地 **52%**

「スマートウェルネスみつけ」など、市が進める健幸施策を具体化・見える化した住宅地。産学官のトップが知恵を出し合い、「景観」「健幸」に配慮した先進的な住宅地です。



3つの公園（広場）や最大幅10mのプロムナード（緑化帯）を2箇所整備するなど、ゆとりのある空間を演出。無電柱化により空の広さを感じられる景観も魅力。

小学校米

全**8**小学校区

小学校区ごとの選りすぐりの農業者により栽培され、学校給食で提供されているコシヒカリを「小学校米」と名付け、ブランド米として商品化し販売しています。売上の一部は各小学校に寄付されます。



それぞれの地域で丹精込めて栽培されたコシヒカリが小学校米に。



子どもたちに「地消地産」の大切さを伝えることにもつながっています。

基幹地場産業

ニット産業への支援

男性用ニット製セーター他
出荷額 全国 **1**位

MITSUKE KNIT ブランドの拡大支援やファクトリーアウトレット「プリメイラ」の運営支援を行い、産地のブランド力と知名度の向上を図っています。



MITSUKE KNIT



「プリメイラ」では高品質なニット製品をお得に買うことができます。「MITSUKE KNIT」オリジナル商品も販売。

見附市の主な取り組み ②「こどもと子育てを支える」

共創郷育の推進

R4年度 学校に関わった人
6,091人

自分の力で未来を切り拓き、たくましく生きていく力を養うため、学校と家庭、地域が総がかりで子どもを育てる「共創郷育」を進めています。市内全学校に「地域コーディネーター」という地域の方を配置し、学校だけでは解決が難しい課題に取り組んだり、子ども達の教育に関わったりしています。

- 学校に関わった地域の人
H17年度 **701**人 → R4年度 **6,091**人
- 地域と連携し教育を行う
「コミュニティ・スクール」(文部科学省)
全13校 で実施



ネウボラみつけ

R4年度利用者数
1,114人

フィンランド発祥の子育て施設「ネウボラ」の見附版。妊娠期や産後の早い時期のサポートと、発達の気になる子どもの早期支援を合わせて実施。産前から産後・育児期に渡り、継続的に相談できる場所となっています。



プレイラボみつけ

R5年7月
オープン

天候に関係なく子どもたちが思いきり身体を動かせる場所がほしいとの声を受け、旧商業施設の建物をリノベーションし整備した2階建て屋内施設。大型遊具や工作スペースを備え、放課後や休日に自由に過ごせる場となっています。



「プレイラボ」という愛称には、楽しみながら協調性や想像力を学んでいく場所、いろんな遊びを作り出す研究所との意味が込められています。

わくわく体験塾

R4年度参加者
2,051人

夏休みを利用して学校間の枠を超えた異年齢交流活動を行い互いに協力し、相手を思いやる心を育てる事業です。学校・行政だけではなく、市内で活動している団体や個人、企業からも講座の開設と運営に参加してもらい、わくわく・どきどきする様々な体験を通じて児童生徒の健全育成に努めています。



見附市の主な取り組み ③「健幸づくりを支える」

住んでいるだけで健やかで幸せになれるまち

スマートウエルネスみつけ

自家用車に頼らず、徒歩や公共交通を使って生活できるまちづくりを進め、住んでいるだけで健やかで幸せになれるまち「スマートウエルネスみつけ」の実現に取り組んでいます。

公共施設や商業・医療施設がある3地区に施設を集約し整備、さらに3地区内で利便性の高いコミュニティバスを走らせることで、市民の足を確保。複数の目的地を自家用車に頼らず移動できるようにし、人との交流や歩数が自然と増えるようにしています。

○「外出したくなる施設」を3地区へ集約

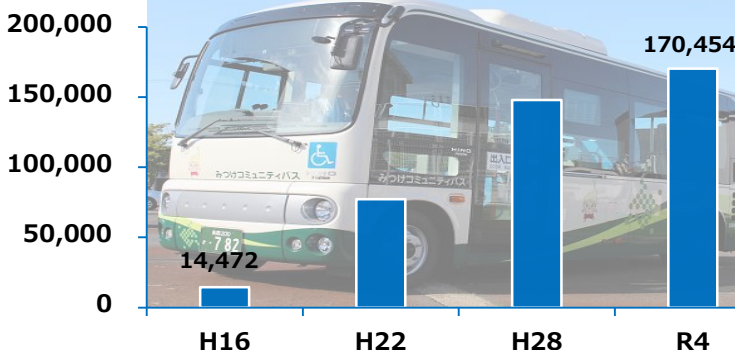
3地区		
見附地区	今町地区	見附駅周辺地区
商店街周辺、市役所周辺、市立病院周辺地域など	商店街を中心とした商業地域	東口・西口周辺地域

○自家用車に頼らず暮らせる「公共交通」市内を循環するコミュニティバス

R4年度利用者
17万人



利用者数(人)



子育て支援の一環として、令和5年7月より市内在住の中学生以下の運賃を無料化。子どもたちの活動範囲の拡大を促し、地域の魅力発見や郷土愛の醸成につながることを期待。

地域医療体制の充実に向けて 診療所の積極的な誘致

医科診療所の新規開業に対して、特定の診療科目に関する上乗せを含め最大1,200万円の支援制度を用意しています。

R5.4月
3 医院開業
小児科・内科・精神科



見附市の主な取り組み ④「暮らしの安心・安全を確保する」

全市一斉の総合防災訓練

過去10回参加者
約12万人

平成16年の「7・13水害」を教訓に、毎年6月に市内一斉の総合防災訓練を実施。中学生ボランティアも各地域の訓練に参加しています。



防災スクール

R4年度開催校
全13校

小中学生を対象に、災害が発生した際に危険となる箇所の確認や服を着たまま浮く練習、避難所生活を体験するため学校で寝泊まりしたりと、災害への対応力を養成しています。



田んぼダム

100%実施で
床上浸水0haに

大雨時に下流域の農耕地や住宅地の洪水被害を軽減するため田んぼの排水口を小さくし、河川への水の流出を抑制することでダムの役割を持たせる取り組みです。



河川への流出量を従来5分の1に抑え、下流域の洪水被害を軽減します。

避難インフルエンサー

対象地域の
84%で選任済み

危険が迫っていても“逃げない”人の心を動かす決め手は、信頼できる人からの「口コミ」—— 浸水時に特に危険性が高い地域で、近所へ声掛けを行い共に避難行動を取る「避難インフルエンサー」の選任を進めています。

トイレトレーラー

清潔な洋式トイレ
4室備え付け

災害時のトイレ不足は、関連死を招いたり二次被害にもつながる深刻な問題です。見附市は災害時でも機動的に使える、4室のトイレを備えたトレーラーを令和2年度から導入しています。



見附市の主な取り組み ⑤「市民の皆様へ寄り添う」

書かない窓口

234の
申請・手続きで運用

これまで申請書の記入が必要だった市役所での各種手続きを簡易化。職員が用件を聞き取りしシステム登録することで、来庁者は内容確認と署名だけで済むようになりました。聞き取り事項は市のシステム内で情報共有されるため、申請漏れをなくし、他の部署での手続きに円滑に引き継がれます。



など

- その他の効果
- ・待ち時間・手続き時間の短縮
- ・窓口移動回数の軽減
- ・職員の窓口対応レベルの均一化

ふれあい懇談会

月1回開催

市民と市長がさまざまなテーマで直接意見交換を行います。市の課題や市民が思う地域の将来像を把握し、ニーズに沿ったきめ細かな行政につなげます。



「子育て」や「移住者」などさまざまなテーマを設け提案や意見をお聞きます。



テーマ別の開催と並行し、コミュニティ単位（地区別）でも開催。

見附市の主な取り組み ⑥「あらゆる力を結集する」

地域コミュニティ

住民カバー率
100%

市内全11の地域コミュニティと連携を図りながら、地域課題の解決に取り組んでいます。それぞれの地域の特性をふまえながらコミュニティ独自の発想で地域の活性化などを進めています。



市民団体等との協働

ボラレ 加盟団体
約100団体

見附市では、市民活動・ボランティア連絡協議会（愛称：みつけボラレ）に約100もの団体が加盟するなど、市民団体やボランティア団体が活発に活動。活動範囲も福祉、社会教育、文化芸術、環境など多岐に渡っており、さまざまな分野で市民団体等と協働しまちづくりを進めています。

- ①活動拠点となる「ふるさとセンター」を設置し、専属の職員を配置。
- ②活動資金として「ふるさとづくり活動交付金」を交付。
活動費：均等割23万円、人口割：200円程度/人
※上記に加え、地域の課題解決に向けたより積極的な取り組みの提案を奨励するためR5よりチャレンジ枠（300万円）を新設。
- ③コミュニティの活動で自由に使うもらえるように、「ワゴン車」を1台貸与。運行はコミュニティに任せ、燃料・車検・保険料等は市が実費負担。



市民団体が管理する「市民の森」は自然観察の場としても人気です。



街路樹イルミネーション（全長1.3km）。市民の寄附とボランティアで設置。



放課後児童クラブを運営する地域コミュニティもあります。



地域の交通課題の解決に向け、コミュニティワゴンを運行。



みつけイングリッシュガーデンの植栽管理も市民団体「ナチュラルガーデンクラブ」が実施。



「みつけボラレ」では定期的に情報交換交流会や視察研修を開催し、団体間の連携や活動範囲の拡大を促進。

見附市の主な取り組み ⑦「行財政を検証し必要に応じ見直す」

「性能発注」による施設整備

整備コスト
従来比41億円減

施設整備にあたり、従来の公共事業に多く見られた、発注者が詳細に仕様を指定する「仕様発注」ではなく、受注者の高い技術力や維持管理のノウハウを活用できる「性能発注」を採用、大幅なコストダウンを図りました。

青木浄水場

- ▶5か年事業（H28～R2年度） 総事業費：77.1億円
- ▶県内で初めて浄水場の更新事業にDBO方式を採用
- ▶従来型の発注方式と比べ、**22億円の経費削減**（建設費で9億円、20年間の運転維持管理費で13億円）



ごみ焼却施設

- ▶2か年事業（H29～30年度） 総事業費：52.4億円
- ▶DBO方式による事業者選定を採用
- ▶従来型の発注方式と比べ、**19億円の経費削減**（建設費で3.5億円、20年間の運転維持管理費で15.5億円）



民間活力を活かした公共施設の運営

市への納入額
累計約3500万円

多くの公共施設で、民間ノウハウの活用による活性化や利用者ニーズに沿ったサービスの提供を狙い、指定管理者制度を導入しています。

うち3施設では、赤字の場合は全額指定管理者の負担、黒字の場合は収益の1/2を市に納入する仕組み（見附方式）を採っています。



市民交流センター ネーブルみつけ

R4年度来館者
41万人

撤退したスーパーをリノベーションし平成16年にオープン。健康運動教室や子育て支援センター、市のアンテナショップもあり、様々な人が利用する交流の拠点施設です。
【時間】9:00～21:45（年末年始休館）
【電話】0258-62-7801



道の駅 パティオにいがた

R4年度来場者
104万人

広大な芝生広場を備え、遠くには守門岳・粟ヶ岳を望む絶好のロケーションを誇ります。災害時には、自衛隊やボランティアの活動拠点になります。
【時間】9:00～21:00（年中無休）
【電話】0258-94-6211



英国式庭園 みつけ イングリッシュガーデン

R4年度来園者
20万人

本格的な英国式庭園で、バラの季節には息を飲むほど美しい光景が広がります。1,000種を超える植物が彩る四季折々の光景は感動的です。
【時間】8:40～日没（12～3月は閉園）
【電話】0258-66-8832



見附市民ギャラリー ギャラリーみつけ

R4年度来館者
4万8千人

法務局をリノベーションした芸術振興の拠点施設。仕事帰りでも立ち寄ってもらえるように夜間も開館しています。
【時間】10:00～22:00（月曜日休館）
※令和5年4月より21:00閉館
【電話】0258-84-7755



カフェやお土産などの販売スペースを設けた「MEG CAFE 511」は通年営業。



年間6万ポットを育苗し、公共施設や学校などへ配布しています。

みつけ 健幸の湯 ほっとぴあ

R4年度来館者
18万人

平成28年8月に9種のお風呂と遠赤外線サウナを楽しむことができる施設としてオープン。3階には県内屈指の規模を誇る岩盤浴施設があります。
【時間】8:00～23:00（年中無休）
【電話】0258-86-1126



見附今町・長岡中之島大風合戦



新潟県中部産業団地

見附市のあらし

人口4万人の小さなまち見附市。市の中心を信濃川水系の刈谷田川が流れ、豊かな水と清涼な空気に恵まれています。豊かな自然、県内でも有数の田園地帯があり、春の芽吹き、夏の深緑、秋の紅葉と黄金色の稲穂そして冬の銀世界、四季折々の風情を味わうことができます。



- 北陸道中之島見附I.Cから2km
- 上越新幹線長岡駅から11km
- 東京から260km
大阪から540km
名古屋から410km

人口の推移

各年とも4月1日時点 (単位: 人・世帯)

	H31	R2	R3	R4	R5
人口	40,341	40,099	39,842	39,315	38,881
世帯数	14,914	15,069	15,209	15,159	15,277

年齢別人口

4月1日時点 (単位: 人・%)

年齢3区分	男性	女性	合計	構成比率
15歳未満 (年少人口)	2,256	2,051	4,307	11.1%
15~64歳 (生産年齢人口)	10,925	10,518	21,443	55.1%
65歳以上 (老年人口)	5,824	7,307	13,131	33.8%
合計	19,005	19,876	38,881	100.0%

面積	周囲	広ぼう		海拔	
		東西	南北	最高	最低
77.91km ²	71.7km	11.5km	14.7km	300m	10m

気象 (令和4年1月1日~令和4年12月31日)

- ・ 年間平均気温 13.7℃ (最高値 9月6日 36.9℃ 最低値 2月15日 -3.9℃)
- ・ 年間降水量 2,103.5mm (日最大量 12月18日 62.5mm)

産業

就業人口

各年とも10月1日時点 (単位: 人)

産業3区分	平成27年			令和2年		
	総数	男	女	総数	男	女
第一次産業	820	530	290	714	471	243
第二次産業	7,241	4,846	2,395	6,911	4,634	2,277
第三次産業	12,460	5,858	6,642	12,339	5,716	6,623

製造品出荷額

各年とも12月31日時点(単位: 万円)

	平成21年	令和元年	増減率
製造品出荷額 総数	7,968,169	14,568,907	182.8%

古くは、ニット等の繊維産業を基幹産業として発展してきた見附市。近年では、県営中部産業団地への企業進出により、産業構造が多様化、製造品出荷額もここ10年で約80%増加しています。

魅力的なまちづくりが評価され、数々の賞を受賞!

★SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業(R1)

どちらも県内初の認定!

★コンパクトシティ大賞(H29)

★プラチナ大賞(H29)

★先進的まちづくりシティコンペ(H30)

★令和4年度市民アンケートでは

91.2% が

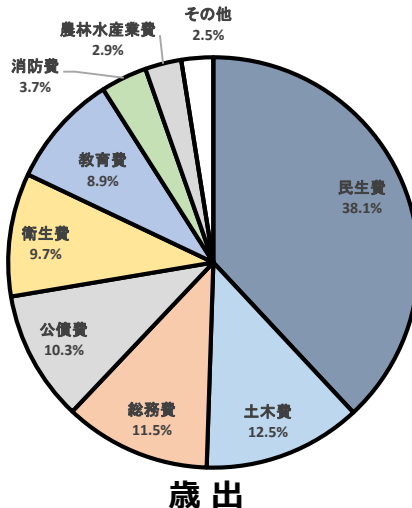
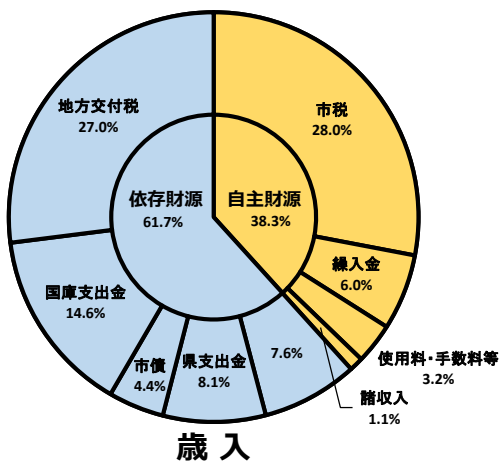
「住み良い」「どちらかという住み良い」と回答



過去最高!

令和5年度 予算

○一般会計: 174億2000万円



一般会計歳入内訳 (単位: 万円)

市税	48億7030
繰入金	10億4990
諸収入	1億9960
使用料・手数料等	5億4760
自主財源計	66億6740

一般会計歳出内訳 (単位: 万円)

地方交付税	47億 330
国庫支出金	25億3469
県支出金	14億1291
市債	7億7130
その他交付金等	13億3040
依存財源計	107億5260

一般会計歳出内訳 (単位: 万円)

民生費	66億2901
土木費	21億7162
総務費	20億 972
公債費	17億9061
衛生費	16億9171
教育費	15億5518
消防費	6億3513
農林水産業費	4億9901
その他	4億3802
歳出計	174億2000

○特別会計

- ・ 国民健康保険事業 34億7600万円
- ・ 後期高齢者医療 4億7600万円
- ・ 介護保険事業 45億7700万円
- ・ 宅地造成事業 8300万円

○企業会計

- ・ 水道事業 20億2000万円
- ・ 下水道事業 35億 700万円
- ・ 病院事業 27億9200万円